

上越の地から福祉NPOの新しい流れを発信

著者	渡辺 弘之
雑誌名	NICかわらばん
巻	199
発行年	2005-06-05
URL	http://hdl.handle.net/10631/712



新潟県立看護大学

渡辺弘之

や福祉サービスについての学習講座なども行っています。

福祉NPO法人「りとるらいふ」は、障害を持つ人たちの余暇支援活動からスタートしました。昨年NPO法人格を取得、上越市の大貫地区に念願の一軒家「ふあみりあ・すぺーす」を借り上げて活動の拠点としています。今年度からは上越市の委託を受け、障害を持つお子さんの放課後支援事業をスタートさせました。私も理事として、またマネージャー・アドバイザーとして、時にはミニユー

ジシャンとして活動に参加しています。

今、全国ではこうしたさまざまな団体が活動を始めていますが、「りとるらいふ」は全国でも注目を浴びる存在に成長しつつあります。誰もが楽しめるデイキャンプや趣味の講座などをはじめとして、障害を持つ人もそうでない人も楽しめるさまざまな余暇支援事業のメニューを用意しています。

また、福祉の最前線の問題に切り込むインヴォルブメント・フォーラムの開催、一般の方にはなかなか分かりにくい制度

「りとるらいふ」では「誰もが楽しめる音楽」をコンセプトに、毎年大貫地区の平山キャンプ場で「森とみんなのコンサート」（森コン）を開いています。このコンサートは、大貫地区の方々温かいご理解とご協力を得て実現しました。森コンは座って聞いてもよし、走り回っていてもよし、飲んでいてもよし、とすべてが自

上越の地から福祉NPOの新しい流れを発信

由なコンサートです。私も初回コンサート時には出演の機会を与えられ、レゲエ・メドレーなどを演奏させてもらいました。

「りとるらいふ」はNPOならではのフットワークを生かし、福祉分野ばかりでなくまちづくりやいきがいがづくり、いろいろな人の居場所づくりまでを視野に入れた事業展開を目指しています。そうした活動が展開できるのも、快く一軒家を提供して頂いた皆さん、大貫地区の方々、そして「りとるらいふ」を支えて頂いてい



▲デイキャンプにて。一緒にバン生地をこねています

る一人一人の力によるものです。ぜひ、「りとるらいふ」の活動に、そして「ふあみりあ・すぺーす」に遊びに来てください。ホームページのアドレスは次の通りです。

<http://www.little-life.net/>

※このコーナーでは読者の皆様からの看護・介護に関する疑問・質問に、看護大学の教員がお答えします。ご質問事項がありましたら、上越ニックサービスまで、はがきかファクスでお寄せください。

大募集!

かわらばん七月三日号では「梅雨時を快適に過ごす方法」を特集予定です。ジメジメした季節を乗り切る皆さんの衣食住での工夫、ぜひ教えてください!